

もっと豊かに暮らしたい

# G-NET じーねっと しが

滋賀県  
男女共同参画  
情報誌  
vol.26  
2014 春号

「G-NETしが」とは…

滋賀県立男女共同参画センターの愛称で、「Gender-Networkしが」の略。  
ジェンダー問題を見据えて、男女共同参画のネットワークを広げていこうという思いをこめたものです。



女性のチャレンジ支援講座  
受講風景

## 特集

## 夢をカタチに

女性のチャレンジを応援します！

Shiga Prefectural Gender Equality Center  
滋賀県立男女共同参画センター  
G-NETしが じーねっとしが



マザーズチャレンジカフェの体験作品  
クリスマス用粘土細工づくり体験より



マザーズチャレンジカフェ  
コサージュづくり

G-NETしが(滋賀県立男女共同参画センター)では、起業や地域活動への参画など、さまざまなカタチで自分の能力や可能性を開花させ、夢を実現しようとする女性を応援しています。

今回は、女性のチャレンジ支援事業(マザーズチャレンジカフェ、チャレンジ支援講座、チャレンジ相談、チャレンジショップ)に参加した方々のさまざまな夢のカタチを紹介します。

## 奥村 ひとみ さん

### 工房「汀の精」

湖の中にある日本唯一の有人島、琵琶湖上に浮かぶ沖島。高校生まで沖島で過ごし、大阪の服飾専門学校へ進んだからはずっと島外で暮らしていました。

しかし、様々な経験から、健康の大切さに気づき、自然と共存した暮らしが出来る環境である故郷沖島に帰ってきました。そして、自然環境に調和した生き方を考え、環境や人に優しい商品開発に取り組みようと工房「汀の精」を開きました。「汀」には、「水際」という意味があり、琵琶湖と共にある暮らしを見つめ、自然を感じる商品を考えています。これまでは、服飾デザイナーとして、洋服・ドレス・靴・小物等オーダーメイドで製作していましたが、それに加え、天然繊維でのオリジナル製品を作り始めました。

知人の協力で、野草を活用した染めや野草料理講座にも取り組んでいます。

#### ●G-NETしがの「チャレンジ相談&チャレンジショップ」を活用して

島の自然から生まれる「自然に馴染む色」を活かした作品をもっと広めたいとの思いが強くなり、平成24年1～3月、G-NETしがのチャレンジショップに出店し、天然繊維製品を販売しました。さらに、ビジネスプラン



をしっかり立てようとセンターのチャレンジ相談も受けました。

昨年9月には、滋賀県の芸術体験事業「学校にアートがやって来た!」で母校近江八幡市立沖島小学校で、講師として子ども



沖島の自宅工房にて 春を感じる作品と共に

たちと一緒に製作したり、麻生地に絵を描くワークショップを行ったりしました。「生活の中の美」をテーマとし、自然を感じる洋服・小物、昔の生活の様子や日常着用展示し、子ども達、先生方からも大変喜ばれました。

自然の中での愛情のこもった教育を体験させていただき、この貴重な体験から、より沖島の暮らしの貴重さ、人情に気づき、喜んでいただける様な場所作りや物産となる商品開発・資源を活かした企画を提案したいと考えようになりました。

そこで、工房の1階を沖島の生活からヒントを得た心地よい空間に改装し、知人や家族の協力のもと、野草を活用した料理や加工品にも力を入れ、ゆくゆくは、地域の方と一緒に、無農薬野菜栽培や加工品を作り、島内、島外の方々にも喜ばれる場所になればと思っています。

天然繊維や湖東地域の麻等も活用し、自然を感じる野草染め等、沖島の物産となる商品開発、沖島の幸や野草を使ったランチプレート・野草茶等もご賞味いただけたら嬉しい。カフェコーナーの設置も企画しています。

今は口コミや電話、知人を介しての受注ですが、今後インターネット、HP上でも事業展開して販路開拓を行っていきたくです。

## 藤岡 いづみ さん

### 野菜ソムリエ

兼業農家で、祖父母の作った野菜を食べられるという環境に育ちました。結婚後、親子5人で生まれ育った実家に帰ってきましたが、自分の子どもにも野菜のおいしさを知ってほしいとずっと思い続けていたところ、あるファッションモデルの方がTVで「野菜ソムリエ」の資格を取ったという番組を偶然見て、興味を持ちました。

平成21年12月、一番下の子どもがまだ3歳でしたが、家族の後押しもあり、まず、「初級(ジュニア)野菜ソ



キッズ野菜ソムリエに任命された3人の愛娘と受賞式会場にて

ムリエ」の資格を取りました。食への関心の高い夫の応援を受け、家事や育児などは、家族と分担することで、

さらに「中級の野菜ソムリエ」となることができました。野菜ソムリエの仕事には、野菜料理教室を主宰したり、野菜を使ったレシピをレストランに提案したりするものがありますが、農家という強みを生かして野菜も生産する、数少ない野菜ソムリエの一人だと自負しています。

夫は、私の野菜ソムリエの活動を「仕事」として位置づけ、一番の応援団になってくれています。最近では、夫と二人で、男女と一緒に野菜料理をする婚活イベント「コンパ in the kitchen」を開催するなど二人三脚で活動の幅を広げています。

また、小学5年・3年・1年生の3人の娘たちは、昨年「キッズ野菜ソムリエ」に任命され、子ども向け食育イベントの企画では娘たちがアドバイスをくれたりします。家族中を巻き込んで野菜ソムリエの活動をしてきたことが、理解や協力につながったと思います。

#### ●G-NETしがの「女性のチャレンジ支援講座」を受講 & マザーズビズカフェ講師

事業計画を立てる力をもっとつけたいと思い、平成24年度に、G-NETしがの「女性のチャレンジ支援講座」を受講しました。それがきっかけとなり、同センターの

## 高木 あゆみ さん

### ショップマドレ

学生時代にオーストラリア留学をしました。シドニーのような都会は肌に合わず、タスマニアでは1カ月間の自給自足の生活を経験しました。帰国後、自分が役に立てることをと思い、米粉を使ったお菓子を開発、母と伯母、自分の友人の4人でショップマドレを始めました。自宅の物置を改造して厨房にし、会社を経営する父がさまざまな申請などに協力してくれました。順調にことが運び、平成22年6月にオープンしました。

#### ●チャレンジショップに出店

ショップマドレを始めると、次第に自分のショップにはこれといった特長がないことに悩みます。そんな時、ある方から声をかけていただき、平成22年にG-NETしがのチャレンジショップに出店することとなりました。ところが、いざ出店してみたものの、お客さんが一人も来てくれない日もあり、「あっ、広報をしないと!」と気づき、ブログを本格的に始めました。失敗もつづやくこ

マザーズビズカフェの講師もさせていただきました。(※現在はマザーズチャレンジカフェに名称変更) G-NETしがでは、さまざまなチャレンジをめざす女性たちとの出会いがあり、ネットワークが広がりました。チャレンジ支援講座修了後も交流が続き、彼女たちから刺激を受け、励みとなっています。

#### ●今後のチャレンジは?

昨年、日本野菜ソムリエ協会認定の「地域校制度」を活用し、JAおうみ富士の「おうみんち」で滋賀教室を開設しました。今年はそれを軌道に乗せたいと思っています。

さらに、アスリートの「食」をサポートする「ジュニア・アスリートフードマイスター」という新しい資格も取ったので、スポーツ少年団のママを対象にしたイベントにも挑戦したいです。

また、地域でのつながりも大切にしたいとの思いから、「須原魚のゆりかご水田協議会」の日本酒を作るプロジェクトに関わり、近江のこしひかりで「月夜のゆりかご」というお酒を作っています。これからも、「何にでも挑戦する!」という気持ちで前に進んでいきたいと思っています。



ショップマドレとしてイベントに参加

とで、お客さんとのつながり感もでき、ネットワークが広がりました。

#### ●今、大切にしていることは?

人とのつながりを大切にしています。地産地消をモットーに滋賀県産米を自家製粉した米粉と安土産の卵や蜂蜜、東近江市産の豆乳を中心にスイーツを作ったり、こだわりを持って活動していると、県内どこへ行っても顔見知りばかりに出会うほどつながりが広がりました。これからも、こだわりを大切に、人のつながる場を提供する活動に力を入れていきたいです。

#### G-NETしがではあなたのチャレンジを応援しています!

G-NETしがでは、起業やNPO活動、地域活動などのあらゆる分野で社会参画し、活躍しようとするチャレンジ女性を対象に相談や具体的なスキルを学ぶ講座の実施、実践を学ぶ場の提供を行っています。

##### 【平成26年度事業】

- 女性のチャレンジ支援講座 起業・社会活動を目指す女性を対象に、ライフプランニング、事業計画の立て方など起業するために必要なスキルを学ぶ講座

- 女性のためのチャレンジ相談 起業、キャリアアップ、社会活動等、チャレンジしたい女性に専門の相談員がアドバイス
- 実践を学ぶチャレンジショップ チャレンジする女性が当センター内でチャレンジショップを開設し、実践を学ぶ場を提供
- 女性のチャレンジ支援サイト「チャレンジサイトしが」 チャレンジしたい女性のための情報サイト 県内各地で活躍する女性たちの事例集や講座・イベント・資格・相談窓口などの情報が満載 <http://www.pref.shiga.lg.jp/c/challenge/>



## 辻井沙也加さん & 兵頭亜紀さん

### ひよこまめ

アルバイト先で知り合い、意気投合してプレートランチのお店「ひよこまめ」を結成しました。こだわりのあるお店を出したいという思いやこだわって作りたいという、二人の食に対する感覚も共通していました。また、料理の盛り付けがすごい!と感じたことをパートナーに伝え合うなど、刺激し合うことで、次第に二人でお店をやりたいという気持ちが強くなっていきました。そして、平成25年4月、初めて東近江市にあるギャラリー兼カフェであるファブリカ村に出店しました。

#### ●チャレンジ相談からチャレンジショップ出店へ

もっと出店の機会を持ちたいと思い、G-NETしがのチャレンジ相談を受け、チャレンジショップに出店することになりました。アルバイトが終わってから、遅くまでG-NETしがの厨房で仕込みをしたり、アルバイトが休みの日に出店をしたりと、ハードスケジュールの毎日でしたが、お客さんとの会話や温かいアドバイスが励みになりました。

そろいの紺色のギンガムチェック柄のシャツと手作りのエプロン。二人がもっている調理師と栄養士の資格を活かして、無農薬・無添加の調味料や



(左)兵頭さん (右)辻井さん  
チャレンジショップのレジにて

マザーズチャレンジカフェに提供したスイーツ

国産の食材にこだわっています。悩んだ時は、二人で相談し合えるので、柔軟なアイデアが生まれると思います。

#### ●家族の協力

- ・「ひよこまめ」出店に向けて、夫は全面的に応援してくれていて、いろいろなことに協力的です。試作品の味見をしたり、アドバイスもしてくれます。(兵頭さん)
- ・同居しているおばあちゃんから弟まで家族全員が試食してくれて、盛り付けや味について意見をくれます。(辻井さん)

## チャレンジしたい人に送るエール

(有)アイ・キャリアサポート 代表取締役社長 黄瀬 紀美子 さん

「平成25年度女性のチャレンジ支援講座」の講師であり、ビジネスプロデューサー・キャリアコンサルタントとして、滋賀・京都をはじめ、全国で幅広く活躍する黄瀬さんにチャレンジを始めるために大切なことをアドバイスいただきました。

#### ■「ブチ哲学」のススメ

26年間、女性の支援や起業セミナーにかかわっていて感じることは、精神的・経済的自立のレベルを高める目標を持つこともいいのですが、その前に、自分の内面にあるもの、どうなりたのかについて、もっとじっくり考える時間を持つてほしいと思います。要するに自己分析ですね。

そのためには、「なぜ?」と、なりたい自分について問いかけてみることをお勧めします。日常生活をちょっと「ブチ哲学」で見てください。きっといろいろな気づきや発見があるはずですよ。

例えば、ケーキ屋さんをやると突っ走っても、半年、1年経つにつれ、いろいろな問題が出てきます。「なぜケーキ屋をしたかったのか?」と自分に問いかけていきましょう。「それは、おいしいケーキで笑顔を増やしたいから。」との答えが出てくるとすれば、「すてきな笑顔はケーキを食べた時だけ?」「どうしてケーキなの?」と「なぜ?」を繰り返すことで、本質が見えてきてどうしたらいいのか気づくことができます。

自分ととことん対話をして、心底打ち込めるものを見つけ、選択すれば、しんどくても頑張りがきくと思います。

また、さまざまな場へ出かけて異業種交流を積極的にして、人的ネットワークを広げましょう。ビジネスは人繋がり成り立っています。人脈は、夢を実現させるための大きな強みになっていくことでしょう。

#### ■豊かな土になる

「移植せし 花はひと時萎れても 大地の恵みで個性を生かす」

いろいろな苦難があっても土壌が良いと豊かに実る。それを信じて頑張れ!!

これは、亡くなった母が、北海道から京都へ転勤するときの私に贈ってくれた歌です。

この言葉を思い出して、今年からは、チャレンジする人の豊かな土になりたい、そう考えています。困った時、迷った時、相談したい時は、私を思い出していただけたら嬉しいです。あなたのチャレンジを心から応援します。



# 女性の活躍応援情報誌

## 働く女性は滋賀のチカラ カラット CARAT 滋賀 2014

を発行しました!

滋賀県では、県内の企業や地域の多様な立場の方々に、女性が活躍できる環境づくりに積極的に取り組んでいただくことや、女性の新たなチャレンジへのヒントにしてもらえるよう、女性の活躍応援情報誌「CARAT 滋賀2014」を発行しました。

ご自身も育児休業を取得されたサイボウズ株式会社代表取締役社長の青野さんと知事との対談、県内企業の実践事例のほか、県立男女共同参画センター主催の「女性のチャレンジ支援講座」に参加後、起業された山崎泉さんなどを紹介しています。

県立男女共同参画センターや県内の図書館などで配布していますので、ぜひご覧ください。  
滋賀県男女共同参画課



## こんにちは、G-NETしが推進員です!

G-NETしが推進員とは…  
滋賀県立男女共同参画センターの講座修了生など、地域の男女共同参画の推進に関わるリーダーです。

今回は、自治会へのアンケートの実施や自治会等のリーダーを対象とした講座の開催など、地域での男女共同参画の推進に積極的に取り組んでおられる甲賀市人権推進課を訪問し、お話を伺いました。

甲賀市では、昨年度、市内の全自治会を対象として、地域における男女共同参画の実態調査を行いました。アンケートの結果から、自治会の会長や副会長、会計に女性がいる区は6%、自治会役員は男性が93%と圧倒的に男性が多い実態がわかりました。女性が参画できない理由などを聞き取ると、慣習として男性が選ばれること、女性に依頼しても辞退されるケースが多いとのことでした。



協働講座の風景

しかし、時代の変化に対応した新たな視点で課題に取り組まれている自治会もあります。

例えば、運動会のような自治会の行事を役員で進めるのではなく、行事ごとに実行委員会形式で行い女性が参画する機会としている区や、組織の中に女性枠をつくるようにしている区もあります。

また、女性区長からは、女性が地域で活躍できる場所や活動があり、少しずつスキルを身につけていけるよう、言わば助走・準備運動にあたる機会が地域で多くあることが重要との意見もありました。地域の中に、女性の参画する機会が増えるよう一つひとつ変えていき、前向きに進めていこうとされているところもあります。

そして、今年度は、各区での取り組みをさらに一歩進め、自治会のリーダーに向けて、G-NETしがとの共催で、大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクターの仁科あゆ美さんを講師に協働講座を開かれ、多くの参加がありました。

取材を通して、実態調査では自治会への聞き取りをされたり、積極的に講座を開催されている現状を知り、男女共同参画に対する甲賀市の熱意が伝わってきました。

## 男&女 ア・ラ・カルト

### ～「オジサン」という魚～

駿河湾以南の中西部太平洋からインド洋にかけてのサンゴ礁域に棲息する、体長30cmほどの「オジサン」という魚がいます。名前の



由来は、ヒゲをはやした老翁に似ているからだそうです。魚の「オジサン」のヒゲは、非常に敏感な感覚器官で、海底に潜んでいるエサとなるエビやカニなどを探するためのものです。

人間には、このヒゲのように、相手の思いを感じる心があると思います。全ての人の思いや願いが大切にされる男女共同参画社会にしていきたいですね。

# 滋賀県立男女共同参画センター(G-NETしが)事業のご案内

## ★女性のためのチャレンジ相談★

無料相談

専門の相談員が、起業やキャリアアップ、NPO活動などチャレンジしたい女性へのアドバイスや情報提供などをを行います。  
(要予約)

まずはお電話ください (TEL 0748-37-3751)

※無料託児有り(7日前までに要予約)

## ★男女共同参画相談室★

無料相談

「女だから…男だから…」と差別された、パートナーや恋人からの暴力、夫婦間の問題、セクハラ・パワハラなど、一人で悩まないで、まずは、お電話下さい。

◆相談専用電話 **0748-37-8739**

◎総合相談(電話・面接・カウンセリング)  
火・水・金・土・日曜日 9:00~12:00 13:00~17:00  
木曜日 9:00~12:00 17:00~20:30

◆法律相談(要予約)

◆DVカウンセリング(要予約)

※無料託児有り  
(7日前までに要予約)

秘密は  
厳守します。

## ★滋賀マザーズジョブステーション★

無料相談

就労に向けたカウンセリングや仕事と子育ての両立支援相談をはじめ、ハローワークマザーズコーナーもありますので、ぜひお気軽にご利用ください。

※祝日も相談できます(ハローワークを除く)

※相談の際の無料託児有り(予約不要)

◆総合受付 0748-36-1831

◆利用時間 9:00~17:00

※ハローワークマザーズコーナー

[昼休憩12:00~13:00](センター休所日、祝日を除く)



## ★G-NETシネマ★

参加無料

~毎月1回上映しています~  
詳しい内容はホームページで!

◎小学生低学年以下は保護者同伴のこと。

※無料託児有り(7日前までに要予約)

## ★図書・資料室から★

~テーマ「地域・チャレンジ」~



『ママ起業 私の方法  
小さく始めて1億円売った』  
園田 正世 著  
祥伝社 (2012年)  
「誰かの役にたたい!」「やってみたい!」その真剣な思いが起業につながった!「北極しろくま堂」社長・園田正世さんが語るママ起業のコツとは?



『山形ガールズ農場!  
女子から始める農業改革』  
菜穂子 著  
角川書店 (2012年)  
農業を活気あるビジネスにする!  
生産から販売までを見据えた農場を経営する若き女性たちの農業改革とは。



『住み開き  
家から始めるコミュニティ』  
アサダワタル 著  
筑摩書房 (2012年)  
自宅を開放して博物館、ギャラリー、劇場、地域サロン…  
家をちょっと開けば、どんどん繋がる!気軽な地域コミュニティ。



『起業は山間から  
石見銀山 群言堂 松葉登美』  
森まゆみ 著  
バジリコ (2009年)  
人口400人(2010年調査より)の町、島根県大森町にある企業「石見銀山・群言堂」。  
自分の住む地に誇りを持ち、未来へと繋がる暮らしを考える。地域に根ざした企業の実践を紹介する。

## 図書・資料室の利用案内

“G-NETしが”の図書・資料室には、多くの書籍・資料をご用意しております。どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

■貸出 本は一人15冊まで(3週間)

ビデオは一人2本まで(1週間)

■開室時間 午前9:00~午後5:00

■休室日 月曜日・祝休日の翌日・年末年始・施設点検日

## G-NETしが

滋賀県男女共同参画情報誌  
VOL.26 2014年 春号

発行日/平成26年3月

編集・発行/滋賀県立男女共同参画センター  
〒523-0891

滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4

TEL 0748-37-3751

FAX 0748-37-5770

E-mail ct30@pref.shiga.lg.jp

H P http://www.pref.shiga.lg.jp/c/g-net/

【開所時間】午前9時~午後9時

【休所日】月曜日・祝休日の翌日

年末・年始・施設点検日



JR近江八幡駅下車南口より500m(徒歩10分)  
または近江八幡駅南口から近江バス  
『男女共同参画センター』下車